

授業科目名	国語・文章表現法	授業形態	講義・演習	授業科目区分	一般科目 (コミュニケーション科目)			
担当教員名	藤坂 由美子・森 克己・山田 恭久・牧野 信市・柿木 正敏			補助担当者名				
単位数	2 単位	履修年次	1年次	受け入れ人数	180名程度			
授業の概要	本授業では、新入生が本学で学術的な学習をする上で必要不可欠なアカデミックライティングや国語力に関する基礎的な知識(認知)やスキル(技能)、マナー(態度)の修得を目指すことを目標としている。具体的には、アカデミックライティングは、毎回提出する授業レポートや課題作文の作成、国語力では読書の必要性を理解し読書感想文の推敲や発表を行う。本授業を通して、ドキュメンテーションスキル・プレゼンテーションスキル・コミュニケーションスキル等の基礎が構築されることを期待している。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標		成績評価の方法					
			授業期間		定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表		
	■認知的領域	・語彙、文法、文章構成などの表現に必要な基礎知識について理解できる ・読書を通して身につく能力について理解し活用できる	○			○		35
■情意的領域	・他者の文章についても興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ること、国語や表現に関する情報を仲間と協力して探求し、要点を整理することができる	○			○			23
■技能的領域	・自分の言葉で思いを表現することができる ・論理的で読み手に分かりやすい文章を書くことができる			○				42
成績評価の基準	授業の取組は、授業への積極的な準備や参加度（〔授業レポート：3点×14回＋授業まとめレポート4点＝46点〕や〔課題作文：18点×3回＝54点〕及び〔作品発表：15点×2回〕について総合的に評価し、単位認定を行う。							
テキスト、教材 参考書	教科書を必ず購入すること：渡辺憲司『時に海を見よ』双葉社、2013年、定価476円（税別） その他、必要に応じて資料を配付する。							
履修条件・ 関連科目	1年次に履修することが望ましい	備考(教員メッ セージ含む)	大学での学びを深めるために重要な科目である					
オフィス・アワー	随時（藤坂：703研究室、森克己：508研究室）							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	藤坂 由美子 森 克己 山田 恭久 牧野 信市 柿木 正敏	オリエンテーション：国語・文章表現法での学びとは			授業レポートの作成〔3点〕			
2	藤坂 由美子 山田 恭久 牧野 信市 柿木 正敏	文章表現法基礎：文章構成と思考の流れ、クラス分け			授業レポートの作成〔3点〕			
3	〃	文章表現法①：文章を論理的に書く（課題選択、主題設定、構想）			授業レポートの作成〔3点〕 課題作文1〔18点〕			
4	〃	：良い文章とは（グループ・ディスカッション）、文章の推敲			授業レポートの作成〔3点〕			
5	〃	：文章表現上の留意点整理、文章の推敲			授業レポートの作成〔3点〕			
6	〃	：作品発表、自己評価・他者評価			授業レポートの作成〔3点〕、作品発表A〔15点〕			
7	〃	鑑賞と表現：読書の力、読書感想文の表現法			授業レポートの作成〔3点〕 課題作文2〔18点〕			
8	〃	：読書感想文の構想と記述			授業レポートの作成〔3点〕			
9	〃	：良い文章とは（グループ・ディスカッション）、文章の推敲			授業レポートの作成〔3点〕			
10	〃	：作品発表、自己評価・他者評価			授業レポートの作成〔3点〕、作品発表A			
11	藤坂 由美子 森 克己 山田 恭久 牧野 信市 柿木 正敏	文章表現法②：自分をどう表現するかー自分の言葉で思いを伝えるー 自己分析、自分史、自己PR等			授業レポートの作成〔3点〕 課題作文3〔18点〕			
12	藤坂 由美子 山田 恭久 牧野 信市 柿木 正敏	文章表現法②：自分をどう表現するかー手紙文等ー ：自己を表現する文章の構想と記述			授業レポートの作成〔3点〕			
13	〃	：良い文章とは（グループ・ディスカッション）、文章の推敲			授業レポートの作成〔3点〕			
14	〃	：作品発表、自己評価・他者評価			授業レポートの作成〔3点〕、作品発表B〔15点〕			
15	〃	授業のまとめ、振り返りと授業評価			授業レポートの作成〔4点〕、作品発表B			